

# 稲作情報 No.23

令和6年9月10日

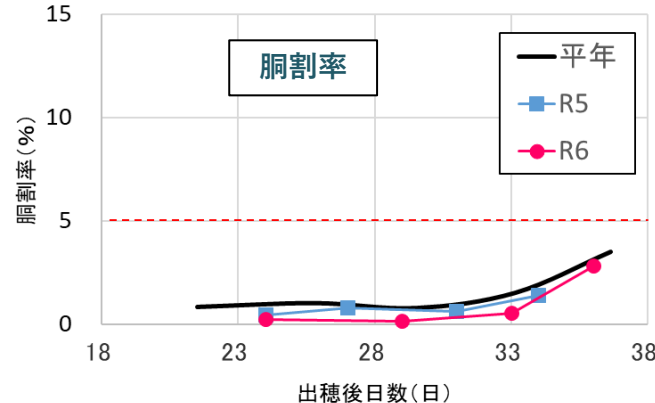
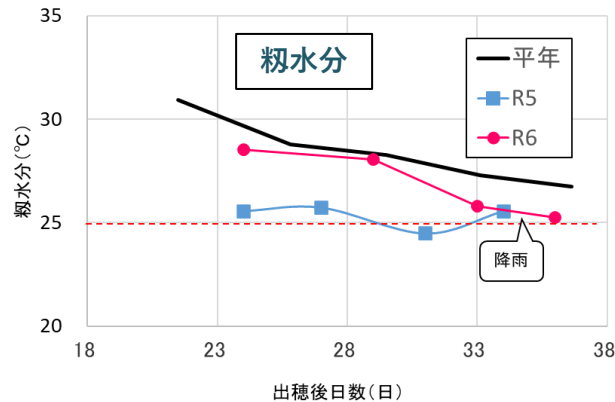
## いちほまれ登熟状況 適期収穫 適切な乾燥調製 麦圃場準備

水田農業レベルアップ委員会 技術普及推進部会 [作成: 福井県農業試験場、福井米戦略課、JA福井県中央会]

農業試験場のいちほまれは、積算気温による成熟期予測より早く、既に**収穫適期の籾水分**になっています。  
また、既に**胴割れ**の発生が確認されています。**刈遅れは胴割れの原因**になるため、**各圃場の籾水分を確認し、刈遅れがないように**しましょう。  
早生品種では、斑点米による等級落ちが多く見受けられます。中生品種以降も同様に発生が多いことが予想されますので、**色彩選別機等で適切に調製**しましょう。  
水稻後に麦を作付けする圃場では、収穫後速やかに排水対策（額縁明渠や補助暗渠の設置等）を実施しましょう。

### 【農業試験場のいちほまれ登熟状況・成熟期予測】

#### ● 登熟状況（5月20日移植）



#### ● 成熟期予測・収穫適期

移植日 5月20日

出穂期 8月4日

成熟期予測 9月9日

(出穂後の積算気温による予測)

収穫適期 9月7日

(籾水分25%)

\* 登熟の進み方には地域差がある  
\* 葉色が薄いところは成熟期が早まりやすい

### 【麦圃場の準備】



溝堀機による額縁明渠の施工

※登熟状況に関する情報発信は今回で最後です。  
まだまだ暑い日が続きますので、熱中症に注意しながら作業をするようにしましょう。